

スタイルの創造

育み・育ち、暮らす！



1 妊娠・出産・子育ての環境整備

- 結婚や出産の希望をかなえるための支援
- 子育てに要する経済的負担の軽減
- 若者の経済的自立と就労支援
- 働きながら子育てしやすい環境づくり

2 子育て支援の充実

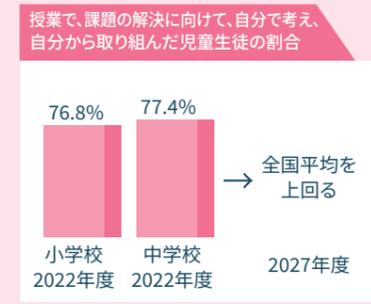
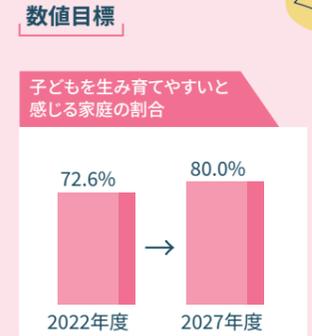
- 保育等の子育て支援体制の整備
- 保育人材等の確保と資質の向上
- 児童虐待防止対策の充実と社会的養護が必要な子どもへの支援の充実
- 企業、地域による支援体制及び協働体制の構築
- 幼児教育の推進
- 子どもや家庭に対する相談支援体制の充実

3 未来を担う子供の育成

- すべての子どもたちが質の高い教育を受けられる環境づくり
- キャリア教育の推進
- 学校の魅力の向上と改革の更なる推進
- 学校における多様な教育活動を支援する体制づくり
- デジタル技術を活用した教育の質の向上



03 基本目標3 子育てしやすい社会づくり 育み・育つ



県民の結婚・子育ての希望を実現するためには、妊娠・出産・子育てのライフステージに応じて、誰もが安心して子どもを生み、育てられる環境をつくることが重要です。このため、子育てに要する経済的な負担軽減など、妊娠・出産・子育てに係る総合的な支援や、子育てを地域全体で支える環境づくりを行うとともに、子どもの主体性や創造性を育むような保育の質の充実に向けた取組を行います。

また、国のこども大綱を踏まえ、県においても総合的なこども関連施策に取り組んでいきます。

さらに、大きな社会的な変化・変革の中で、新しい時代に対応する「生きる力」を持ち、千葉県の未来を担う子どもや若者を育てていくため、デジタルも活用しながら、個々の能力や可能性を最大限に伸ばしていきます。



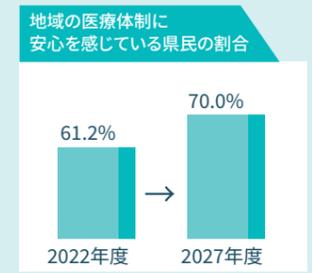
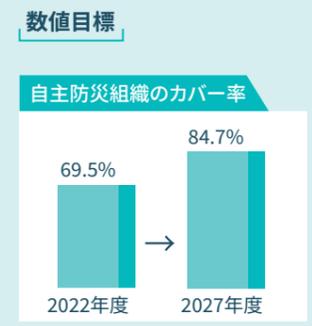
04 基本目標4 県民が暮らしやすい地域づくり 暮らす

1 安全に暮らせる環境の整備

- 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の向上
- 災害に強い地域づくりの推進
- 地域防犯力の向上
- デジタルを活用した安全な地域づくりの推進

3 快適で暮らしやすいまちづくり

- 公共施設等の適正な維持管理
- コンパクトなまちづくり
- まちづくり分野でのDX推進
- 公共交通ネットワークの充実・維持・確保
- バリアフリー化の推進



県民が暮らしやすい地域をつくるためには、県民が安全に暮らせる環境の整備や、健康で安心して暮らせる社会の構築、快適なまちづくりなどが重要です。また、県や市町村等の行政サービスについて、行政手続きにかかる時間の最小化や、それぞれのニーズに合ったきめ細かい行政サービスが受けられる環境づくりも重要です。

このため、激甚化する災害などに対応し、県民の安全・安心な暮らしを守るため、災害時の関係機関と連携した取組を推進することで、被災者支援の対策強化を図るほか、超高齢社会の中にあっても地域に必要な医療・福祉・介護などのサービスを確保する取組などを進めています。さらに、県や市町村のDXの加速化など、スマート自治体の実現に向けた取組を進めています。



2 健康で安心して暮らせる社会の構築

- 地域医療・福祉・介護サービスの確保
- 健康寿命の延伸
- 医療・福祉・介護人材の確保と資質の向上
- 医療・福祉・介護分野でのデジタル化の推進
- 生涯スポーツの推進

4 文化芸術・スポーツを生かした千葉らしい地域づくり

- 文化芸術の振興
- スポーツを生かした地域づくり

5 スマート自治体の実現

- 県行政DXの加速化
- 市町村DXの推進に向けた連携・支援

6 地域連携の強化

- 県と市町村との連携強化
- 隣接都県との連携強化

地方創生におけるデジタルの活用

デジタルには自動化、見える化、最適化、つながる、分かち合う「シェアリング」、個々に合わせる「パーソナライズ」など、様々な可能性があります。そのため、デジタルの活用は、人の暮らしの可能性を広げ、多様なニーズに対応でき、さらに、新たなビジネスなどを創造することができます。

千葉県は日本の縮図と言われているとおり、デジタル化においても、都市部と地方部で活用条件が異なっており、さらに地域ごとに必要となるデジタル技術やデジタル人材の育成状況も異なっています。そのような中、地域それぞれの課題等の解決に向けて、今回の総合戦略において設定した基本目標ごとにデジタルを活用していきます。



1 デジタルで「働く」を次のステージへ

労働人口が減少する中、デジタル技術によって、地域産業の生産性向上を図るとともに、新たなイノベーションやサービスの創出につなげる。



2 デジタルは「活躍する」を広げる

デジタル技術を活用したテレワークなどの新しい働き方に取り組む企業等が増えているほか、仮想空間でも様々な活動が行われるなど、物理的に離れた地域にも人々の活躍の場を広げる。



3 デジタルが「育み・育つ」を変える

デジタル技術は、教育などの子どもを育む分野でも積極的に活用が図られており、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることで、教育の質の向上を図る。



4 デジタルで「暮らす」を安全で楽しく

デジタル技術を活用することで、社会基盤施設や医療・介護分野などの「暮らす」の安全がさらに向上するとともに、文化芸術などの新たな表現が創出される「楽しみ」等の実現を図る。



千葉らしいライフスタイルのイメージ

